

正しい使い方(1) 吊金具HB

(メーカーの言訳ではありませんが……………)

- ◎ カミソリではゾリンゲンの1級品でも薪はうまく割れません。カミソリはひげそりに使用したとき、その優劣が出て来ます。ネグロスの数多くの製品も、正しい使い方をしていただいで、その真価を発揮します。カタログや営業マンの説明不十分のため、効果が発揮できなくては、使用された方も迷惑ですし、ネグロスとしても不本意です。
- ◎ MiNi通信では「正しい使い方シリーズ」として、使い方を間違えやすい製品の正しい使用法を、順次のせる予定です。
- ◎ ネジは物を止めるのに非常に便利なものですが、その原理がネジ面の摩擦力に頼っているものですから、ある範囲の振動が加わると摩擦力が不足してゆるむという欠点があります。ある範囲というあいまいな表現は、ネジの種類、止めるもの、締付力その他のいろいろな条件が重なって一概には言えないため、常識的には手でさわってブルブル、ガタガタ感じる所(空調の吐出口、コンプレッサーなど)では、何らかのゆるみ止め対策が必要となります。
- ① 吊金具HBを振動のある所に使用するとき、図1のようにナットをひとつ追加して、ダブルナット効果でゆるみを防止します。
- ② 締付ボルトを下側にして使用するとき、荷重でボルトの締付力が減りますから、荷重をかけてからボルトを増締(トルク60kg-cm)し、次にナットを締付けます。(図2)
- ③ ネグロック製品は、スプリング材でできていますから、振動を効果的に吸収します。A型T A型(図3)など吊ボルト用の製品がありますから許容静荷重を検討の上御利用願います。

(技術部T. A)

